

自作教具の活用事例

【作品名】 ひみつ 何が入っているかな? 「秘密ボックス」	【学校名】 日立市立楡形小学校
【活用できる領域・教科等】 算数 自立活動 その他	【制作者名】 兼子 公孝
【制作の意図】 手の感覚で、物の形の特徴を見つけたり、何であるかを類推したりする。 正面から見ている友人も興味深く観察することができる。	【使用の方法】 立体図形やクイズ的な物を秘密ボックスの中に入れる。 両脇から手を入れて、中身を手探りで考察する。
【制作上の工夫】 前面はアクリル板を張り、本人以外には秘密ボックスの中が見えるようにする。 側面の手を入れる所に布をつけ、本人からは見えないようにする。	【見取り図】  適当な大きさの段ボール箱を準備する。 前面は約5cm縁を残して3辺を切り、内側からアクリル板をはる。 縁を製本テープで保護補強する。 前面の残した扉上方にひもをつける。 側面に15cm程度の円を切りぬき、その穴が隠れるぐらい大きめの布を上からかけてとめる
【写真】 秘密ボックス 	【使用効果と応用発展】 秘密ボックスの中を手探りで考察する人も、前から見ている人も、とても興味深く学習できるようであった。 立体図形などイメージしにくい教材でも導入やまとめとして有効であった。 入れる物や見せ方の工夫で、学習としての興味関心の高まり、ゲーム的要素を取り入れた楽しい活動が期待できる。
【材料・材質・部品等】 段ボール箱 アクリル板 布 製本テープ ひも カッターナイフ カッター板	